

会議録

会議の名称	第2回西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成28年6月30日 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	エコプラザ西東京（多目的室）
出席者	【委員】 山谷会長、一方井委員、三澤委員、福田委員、池月委員、平山委員、笠原委員、草野委員、渡部委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員 【事務局】 松川部長、原島課長、都築ごみ減量係長、本多清掃係長、江崎主任、下田技能長、岩崎技能長、磯部技能長、三村技能主任、小島主事
議題	(1) 西東京市一般廃棄物処理基本計画の基礎資料と新たな施策について (2) その他
会議資料の名称	資料No.1 第1回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録 資料No.2 ごみ・資源量の推移 資料No.3 組成分析結果 資料No.4 一般廃棄物処理基本計画の新たな施策 西東京市エコ羅針盤
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言内容等</p> <p>1 会長から開会の挨拶</p> <p>2 事務局の人事について</p> <p>3 第1回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録について会議録は承認された。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 西東京市一般廃棄物処理基本計画の基礎資料と新たな施策について</p> <p>(資料No.2) ごみ・資源量の推移</p> <p>(資料No.3) 組成分析結果</p> <p>(資料No.4) 一般廃棄物処理基本計画の新たな施策</p>	

(委員の意見)

・組成調査について

【委員】組成調査の対象世帯が少ないため、アパートでは特異な排出により偏ったデータとなっている。今後は、調査対象をもっと増やしてほしい。

【事務局】検討します。

【委員】アパートは世帯の入れ替わりが多く、分別協力率が低くなるので対応が必要である。

・腐葉土バッグや生ごみコンポスト

【委員】生ごみの減量化対策の腐葉土バッグや生ごみのコンポストなどは、市民のモニター実験等を実施し、使いやすさや利便性をもっと検証してから実施に移してほしい。

・ざつ紙バッグ

【委員】ざつ紙バッグを作成するにあたり、新聞紙を使用することとなれば、資源として回収する新聞紙の量が減ってしまうため、ほかの方法を検討していただきたい。

【委員】紙袋をリユースするような仕組みを取り入れてほしい、以前マンションで不要紙袋などを集めて、不要紙袋をシェアしていました。

【事務局】ざつ紙バッグはモニターを募集し、もっと改良を図ります。

・資源の戸別回収

【事務局】従来使用している、かごによるステーション回収では、かごが風で飛ばされるなどして、事故に繋がる場合があります。また、高齢者への配慮や分別協力の向上、不法投棄の問題もあるため、資源の戸別回収を考えています。

【委員】ステーション回収のほうが、近隣住民同士のコミュニケーションに繋がることがある。

【委員】資源物を入れるかごが大きいため、資源の日にかごを準備するのが高齢

者には負担になると思う。

【委員】23区では、オリコン形式のかごを使用しており、折り畳みが可能となり飛ぶことがない。

【事務局】市内には約6,300のステーションがあるため、オリコン形式に変更していくことは費用面で厳しい状況である。

【委員】資源の戸別回収はどのような形態で行っていくのか。

【委員】地域によって特徴があるため、実際に資源物の戸別回収を行った自治体の効果などを検証してから、検討して頂きたい。

(2) その他

次回の日程について